



2017年12月25日

中部国際空港に燃料電池産業車両用水素充填設備の設置・運営のお知らせ

株式会社鈴木商館(代表取締役社長:鈴木慶彦)は、愛知県常滑市の中部国際空港(セントレア)に燃料電池産業車両用水素充填設備を設置・運営することを決定しましたのでお知らせします。

1. 設置の目的

当社は、2015年12月に米国エアプロダクツ社と日本国内における資材運搬車両用水素ステーション事業に関する提携契約を締結し、産業車両用水素ステーション事業に参画しております。

当社では、平成28年度に環境省及び愛知県の補助金を受け、再生可能エネルギーにより製造したCO2フリー水素を用いる燃料電池フォークリフト用水素充填設備を当社豊田事業所内へ設置し、同時に燃料電池フォークリフトを導入しました。本設備は、社内の日常の荷役業務に活用するだけでなく、一般に広く公開することで、運用開始以来多数の方にご見学頂き、水素エネルギー社会の拡大に向けた普及活動にも取り組んでおります。

本年度は、愛知県が設置した『セントレアFC産業車両導入促進ワーキンググループ』の一員として、中部国際空港におけるフォークリフト等産業車両の燃料電池化について具体的に検討を進めており、当社が中部国際空港貨物地区に燃料電池産業車両への再生可能エネルギー由来による水素充填設備を設置・運営することとなりました。

なお、本設備の建設事業費の一部は、平成29年度の環境省補助金『二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域再エネ水素ステーション導入事業)』及び愛知県補助金『愛知県水素ステーション整備費補助金』を活用する予定にしております。

【参考・セントレアFC産業車両導入促進ワーキンググループ】

平成29年4月にセントレア水素社会形成ワーキンググループから分離して設置。

構成員: 愛知県、株式会社鈴木商館、中部国際空港株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社豊田自動織機

2. 設備の概要

今回設置する設備は、二酸化炭素の排出量を抑制するために、敷地内に太陽光発電システムを設置し、得られた電力を用いて水の電気分解により水素を発生させるオンサイト型水素充填設備です。

【設備仕様】

- ・太陽光発電設備 : CIS太陽電池パネル(175W×300枚;約50kW)
- ・水素製造装置 : 高分子純水電解型(最大5Nm³/h)
- ・水素圧縮装置 : レシプロ式4段圧縮,常用圧力45MPa
- ・水素蓄圧器 : タイプ3複合容器 300L×4本(常用圧力45MPa)
- ・ディスペンサー : 35MPa充填(ノンプレクール)
- ・再エネ水素製造量 : 約40Nm³/日(FCフォークリフト3台相当)
- ・運用開始 : 2018年3月(予定)

【参考・豊田事業所設備仕様】

- ・太陽光発電設備 : CIS太陽電池パネル(160W×324枚;約50kW)
- ・水素製造装置 : 高分子純水電解型(最大5Nm³/h)
- ・水素圧縮装置 : レシプロ式2段圧縮,常用圧力45MPa
- ・水素蓄圧器 : タイプ3複合容器 300L×2本(常用圧力45MPa)
- ・ディスペンサー : 35MPa充填(ノンプレクール)
- ・再エネ水素製造量 : 約30Nm³/日(FCフォークリフト2台相当)

3. 本件に関するお問い合わせ

株式会社鈴木商館
東京都板橋区舟渡1-12-11 ヘリオスⅡ
経営企画部 広報担当 市村
TEL 03-5970-5553